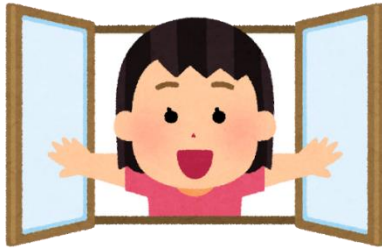


心の窓を開こう！



積極的な自己開示

ボランティア活動は出会いの場
「心の窓を開いて、真の自分を知り、
新しい自分を発見してみませんか？」

ボランティア活動は、「出会いの場」とも言われます。

出会いの場では、相手のことを知ることとはもちろんのこと、自分のことを知ってもらうことも大切です。自分のことを知ってもらうためには、自分で自分自身をよく理解する必要があります。自分の性格は自分自身が一番理解していると思ひ込んでいる人も多いと思いますが、実際は自分のことゆえに見えない性格も多くあるのです。今号では、新しい自分を発見することができる「ジョハリの窓」という手法について紹介します。

ジョハリの窓は、自己分析することによって新しい自分を発見し、人間関係やコミュニケーションを円滑に進めるために作られました。自分のことをどれだけ周りに表現しているか、どれだけオープンなのかがこの手法を使うことで分かります。特に感情や考え、意見をあまり表に出さない人はこの手法を使うことで、多くの気づきを得られると思います。

ジョハリの窓には、「開放の窓」、「盲点の窓」、「秘密の窓」、「未知の窓」の4つの窓があります。

①開放の窓…自分も他人も知っている自己のこと。

②盲点の窓…自分では気づいていないが、他人は知っている自己のこと、癖や思わぬ長所などがあります。

③秘密の窓…自分だけが知っている自己のこと、コンプレックスやトラウマなどがあります。

④未知の窓…自分も他人も知らない自己のこと、才能などがあります。

コミュニケーションを円滑に進めるためには、「開放の窓」を広げ、「未知の窓」を狭めていくことが重要です。

ジョハリの窓を活用し、隠された才能や長所、性格を発見し、新しいことに挑戦してみたいかがでしうか？
興味のある人は、ボランティアコーディネーターまでお尋ねください。

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	①開放の窓 自分も他人も分かっている	②盲点の窓 自分は気づいていないが、他人は知っている
他人は気づいていない	③秘密の窓 自分は知っているが、他人は気づいていない	④未知の窓 誰からもまだ知られていない

ボランティア活動団体の紹介

今回ご紹介するのは、伝統文化「八朔の節句」の伝承と、だごびーな（だんご雛）とわら馬（八朔の馬）の作成を行っている団体です。

◆筑前芦屋だごびーなとわら馬の会

芦屋町には約300年続く「八朔の節句」という行事があり、だごびーなとわら馬を飾って、こどもの誕生や成長を祝います。会ではこの伝統文化を後世に残すために、保存活動を行っています。会員17人で活動していて、30代〜80代の幅広い年代が楽しみながら作られています。作品は、9月に行われる「だごびーなとわら馬まつり」にて展示、また年に数回、だごびーなとわら馬の製作体験を実施されています。



5月25日に行った第1回ワールドカフェでは、会長さんたちを講師としてお招きし、「だごびーなづくり」を教えてもらいました。米粉を練るところから作品づくりまで、和気あいあいと伝統文化に触れながら、交流することができました。

会の活動に関心のある人はボランティア活動センターまで、ぜひお問い合わせください。



今年は11月開催！
クラフトマーケット
〜手作り作品のぬくもりを

あなたに〜

ボランティア活動支援の一環として、各団体・施設が心を込めて創作した、小物やアクセサリ、バッグ、木工品などのハンドメイド作品を、展示・販売します。詳細は、広報あしややホームページなどお知らせします。ぜひお立ち寄りください。



おらせ

今後の活動予定

◆11月13日（水）～27日（水）
「クラフトマーケット」

◆令和7年3月8日（土）
「第2回ワールドカフェ」

★各種団体活動（見学できます。詳細はお問い合わせください）

■福祉支援

- ・芦屋町手話の会（水 19:00）
- ・ハーティネットあいあい（水 10:00）
（視覚障がい者支援）（第1月 9:30）
- ・身体障がい者福祉協議会（不定期）（水 13:00）

■英会話

- ・AEGC（木 10:00）

■手作り教室

- ・すみれ会〈洋裁〉（水 10:00）
- ・さくら会〈洋裁〉（水 13:00）
- ・でんでんむし〈布絵本〉（木 10:00）

☆編集後記☆

日本には美しい四季の移り変わりを表す情緒豊かな表現・挨拶がある。日々の暮らしの中で、手紙を書く習慣が薄れて行く今日、例えメールであっても季節の言葉は欠かさぬように心がけている。はや長月、残暑まだまだ厳しくご自愛の程、が続きそうな予感、朝夕凌ぎやすくなり、そここに秋の気配が、と書き出せる大好きな秋の到来を心待ちにしている。（橘）